

国立大学法人大阪教育大学人事基本方針

令和3年8月27日

学 長 裁 定

国立大学法人大阪教育大学（以下「本学」という。）は、大学の基本理念の下、中期目標・中期計画の達成を目指し、柔軟かつ機動的な組織運営を図るため、ここに教職員の人事基本方針を定める。

1. 人事の基本目標

本学は、我が国の先導的な教員養成大学として、現代的な教育課題に対応できる教育研究組織の構築を図るとともに、教育研究及び組織の持続可能な発展に向けて、中長期的な財務状況に留意しつつ、多様性を確保し、効率的かつ適正な人員配置を行う。

2. 教職員の人材確保及び選考

(1) 教職員の人材確保にあたっては、本学が求める教育研究の高度化、社会貢献、産官学連携の推進、グローバル化及び大学を取り巻く社会情勢の変化と教員養成大学に対する様々な要請に積極的に取り組み、倫理観並びにコミュニケーション能力及び協調性を備える者であることを確認する。

(2) 大学教員の選考にあたっては、中長期的な人事計画に基づき、年齢や職階構成の他、ダイバーシティの観点を考慮するとともに、公募を原則としつ

つ、人事交流の他、必要に応じて学長裁量による人事も活用し、必要な人材を確実に確保する。また、採用にあたっては、クロスアポイントメント制度やテニユアトラック制度を積極的に活用し、組織の活性化を図る。

(3) 附属学校園教員の選考にあたっては、大阪府・大阪市・堺市・川西市の各教育委員会並びに大阪府豊能地区教職員人事協議会との人事交流及び直接採用により行い、中長期的な人事計画に基づき、年齢や職階構成等のバランスに配慮し優秀な人材の確保に努める。

(4) 事務系職員の選考にあたっては、多様で優秀な人材を確保するため、公募による競争試験を原則としつつ、人事交流の他、他機関等の経験者や、特定の領域において優れた能力を有する者、非常勤職員を対象とする選考採用等を柔軟に活用する。

3. ダイバーシティの推進

社会の多様化、グローバル化が急速に進展し、教育研究を取り巻く環境が大きく変わり続ける中、性別・国籍・障がいの有無及び年齢等に関わらず、多様な人材が本学の基本理念を共有し、個々人の力を結集しながら切磋琢磨し、もって持続的で強靱な組織の実現を目指す。

4. 人事管理及び研修等

(1) 人事管理は、人材育成の視点、能力及び業績等を重視して、計画的に行う。

(2) 教職員の多様な能力等の養成及び向上を図り、意識改革を推進するために、中長期的視点から、計画的にFDやSD等必要な研修を行う。

- (3) 教職員の能力の向上及び組織の活性化を図るため、他の国立大学法人・国・独立行政法人・地方自治体（教育委員会を含む）・企業等の諸機関との人事交流を積極的に行う。
- (4) 中期目標・中期計画等の組織目標に応じて、適正な人員配置を行う。
- (5) 教職員の資質・意欲の向上、能力の発揮を促進する積極的な取り組みを行う。
教職員の働きやすい職場環境を整え、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進、教職員の意欲の向上を図る。

5. 人事評価

教職員の人事評価については、公正かつ厳正に実施し、その評価結果を適切に処遇に反映することにより、教育研究力の向上並びに組織の活性化を図る。